

# 勇気の救命 夢へ前進

## 中消防署が感謝状

適切な応急手当で心肺停止の男性の命を救ったとして、中消防署は十日、愛知淑徳大健康医療科学部一年伊藤詩美さん(ひと)と杉本萌恵さん(ひ)に感謝状を贈った。救急救命士になるのが夢という二人は今回の経験を生かして「将来一人でも多くの人を救いたい」と目を輝かせた。

出して動いた」。

心肺停止状態に陥っていると判



助けた大森さん(後列右)から感謝を伝えられた伊藤さん(前列右)と杉本さん。中消防署で

## 愛知淑徳大・伊藤さんと杉本さん

断し、救急隊の到着までに気道の確保、胸部圧迫をし、自動体外式除細動器(AED)を使用。まもなく到着した救急隊に引き継ぐと、大森さんの心拍が再開した。

大森さんは中消防署であった感謝状贈呈式に出席し「まさに命の恩人。おかげさまで何の後遺症もなく過ごせている」と二人に感謝し、加藤雄三署長は「迅速で的確な素晴らしい対応だった」とたたえた。

伊藤さんは「大森さんが助かったと聞いて涙が出た」と振り返り、今回の経験を周囲に伝えながら救急救命の知識を広めていきたいと抱負を述べた。杉本さんも「患者に寄り添い、心が強くて優しい救急救命士になりたい」と語った。

(村松秀規)